

高等部

令和7年5月26日発行

学部通信第2号

文責：平山 正敏

令和7年度が始まり約2か月が過ぎ、本格的に授業が始まりました。今年度は、10月に全日本聾教育研究大会長崎大会を控え、教師、生徒ともに気合いを入れて学習に取り組んでいます。

私たち教師は、聴覚に障害がある生徒に対して口話や手話などのコミュニケーション手段を使って確実に情報を伝えること、教師と生徒、生徒同士の話し合い活動を通して生徒の思考を促し、学習内容の理解と定着に努めることに力を入れています。その際の重要な手立てとなるのが、ICT機器を活用した視覚的情報（静止画や動画、文字情報など）の提示です。本校では、電子黒板や「見える校内放送（みらいスクールステーション）」などを積極的に活用して、日々の授業や授業時間外に情報提示を行っています。

英語・コミュニケーション



情報 I



歴史総合



数学 I



化学基礎



体育実技



日めくりカレンダーを参考に情報担当が作成した「日本語の常識」シートを毎朝決まった時間に流し、HRや自立活動の時間に取り上げて指導しています。毎日、積み重ねることで生徒の語彙力アップにつながっています。

毎朝、決まった時間に「見える校内放送」で、手話の動画を10個ずつ流し、手話に親しむ環境づくりにも取り組んでいます。

